

川村学園女子大学のアセスメント・ポリシー

川村学園女子大学は、学修の過程と成果を可視化するとともに、ディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、アドミッション・ポリシー（AP）に基づいて教育の改善を進めるために、学修成果の評価のための方針（アセスメント・ポリシー）を定めています。

学修の評価は、Ⅰ学生の学修状況の評価、Ⅱ大学（機関）としての学修状況の把握とその活用、の2つの側面から行われます。

Ⅰ 学生の学修の準備状態、進行状況、最終的成果について、DP、CP、APに基づいて、以下の方法で達成すべき水準を満たしているかを評価します。

1 卒業時判定：ディプロマ・ポリシーに則り、学修が達成されたことを評価します。

DPに掲げた3つポリシー(1)基礎学力、(2)専門科目による専門知識、実践的スキル、創造的思考力、(3)自覚ある女性、社会への奉仕、の各学修を評価し、水準を満たしたものに学位を授与します。

方法：取得総単位数、科目の指定条件の充足

教育の質の評価：GPA、取得資格（国家資格など）を評価します。

水準：卒業単位124単位、指定された科目群の履修単位条件を基に評価します。

2 学修状況把握、単位認定：カリキュラム・ポリシーに則り学修が進められているかを評価します。

(1) 全学共通の共通教育科目、副専攻科目などによって幅広く学修すること。

(2) 学科および専攻科ごとの専門科目において、学年進行に基づき体系的に学習すること。

方法：学修ポートフォリオ、各年次、学期ごとの定期試験、レポート、実習の評価、GPA、アセスメントテスト、ルーブリックなど多面的に学修を評価します。

水準：カリキュラム・ポリシーを理解し、年次進行にそって着実に学修を進めていることを評価します。

3 入学時考査：アドミッション・ポリシーを満たすかどうかを評価します。大学、学部学科、大学院のAPに則り、選抜を実施します。

方法：

学校推薦型選抜（指定校）：面接、小論文

学校推薦型選抜（公募）：面接、小論文、外部資格試験

総合型選抜：面接（複数回）「将来展望」「体験報告」、小論文

一般選抜：2科目試験、外部資格試験、調査書

一般選抜大学入学共通テスト利用：2科目試験の結果

水準：各選抜方式別にアドミッション・オフィサー会議で設定されるAPを満たす水準かどうかを評価します。

Ⅱ 大学（機関）、学部・学科・大学院、科目の3レベルで総合的な評価を行い、その結果を教育改善に活用します。

1 大学（機関）レベル：

機関として DP がどの程度達成されているかを評価します。

方法：卒業率、退学率、就職率、資格取得者数、入学者数、留学者数、
学生生活アンケート、授業参観アンケート、卒業後アンケート
アセスメントテスト、ルーブリック

：IR 委員会での集約、分析を基に、教学マネジメント会議で検討します。

水準：指標ごとに設定された目標値を基に評価します。

活用：

機関としての教育改善を教学マネジメント会議で計画します。

学部学科、大学院の組織、運営を教学マネジメント会議で検討します。

FD SD 委員会において研修の計画に活用します。

機関の教育成果についての情報公開に活かします。

認証評価、外部機関へ情報提供を行います。

学生募集方針を教学マネジメント会議で検討します。

2 学部・学科および大学院研究科レベル：

DP CP に則り、学修システムが適切に運営されていることを評価します。

方法：学年別単位取得者数、科目の成績評価結果、授業評価アンケート、
アセスメントテスト、ルーブリック

：学科・大学院会議において情報収集と分析、検討を行います。

水準：体系的な学修、適切な評価がおこなわれている事を評価します。

活用：

カリキュラム改善、教授法改善のために教学マネジメント会議、学部学科、大学院会議、FD SD 委員会で活用します。

3 科目レベル：

DP CP に則り科目の目標が達成されているかを評価します。

方法：授業実施時間、単位取得者数、成績評価結果、授業評価アンケート、
ルーブリック

：担当教員、学部学科・大学院の委員会からの情報の提供および
各委員会における検討を行います。

水準：単位取得者数、適切な成績評価、シラバスに記載された科目の目標が達成されている事を評価します。

活用：教授法の改善、学生満足度の向上、学修成果の向上に活用します。